



わたくしたち大東市民は

1. 自然を愛し、環境をととのえ 心をあわせて美しいまちをつくりましょう
1. たがいに尊敬し、はげましあい 心をあわせて明るいまちをつくりましょう
1. ことばをただし、礼儀をまもり 心をあわせて秩序あるまちをつくりましょう
1. 健康で、働くことによろこびをもち 心をあわせて豊かなまちをつくりましょう
1. 伝統をたとび未来をそだて 心をあわせて文化のまちをつくりましょう



市の木：さんごじゅ (昭和46年10月1日制定)
さんごじゅは、秋に赤い実をつけるたいへん美しい木です。その実がサンゴのように見えるので「さんごじゅ」と名づけられています。水分を多く含んでいるので、防火樹としても役立ちます。



市の花：菊 (昭和46年10月1日制定)
菊は、もともと中国から薬草として日本にやってきました。気品があって、美しい花なので見楽しむ花として親しまれるようになりました。大東市でも多くの人たちが、菊づくりを楽しんでいます。



これが大東市の市章です。
市民から募集して定められました。「大とう」の文字をかたどっています。

(昭和31年8月1日制定)

昭和31年4月1日に南郷村・住道町・四条町が合併して、大東市が生まれました。
大阪の東にあること、「光は東から」という未来への発展を祈って名づけられました。



大東市民憲章推進協議会